

重要情報シート（個別商品編）

投資信託

利用開始日：2024年03月29日
データ基準日：2024年03月29日

1 商品等の内容

（みずほ証券は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売を行っています。）

金融商品の名称/種類	みずほサステナブルファンドシリーズ - LO・サーキュラー・エコノミー／証券投資信託
組成会社（委託会社）	アセットマネジメントOne 株式会社
販売委託元	アセットマネジメントOne 株式会社
金融商品の目的・機能	マザーファンドを通じて、世界（わが国および新興国を含みます。）の企業の中から、サーキュラーエコノミー（循環経済）*の実現に寄与する事業に取り組み、成長が期待される企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
組成会社（委託会社）の想定購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容したうえで、この商品の運用方針に則した収益を求めめる方を主な購入層として念頭においています。
パッケージ化の有無	この商品は、パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

*サーキュラーエコノミーとは、資源を循環的に利用しつつ付加価値を生み出すことを目指す、循環型の社会経済システムです。

基準価額・純資産総額の推移

2024年4月30日に設定のため、表示していません。

設定日	2024年4月30日	
投資対象資産	内外／株式	
純資産総額	-	
基準価額	-	
決算頻度	年1回	
設定来累計分配金	-	
直近3回分の分配金 (1万口当たり・税引前)	-	-
	-	-
	-	-

? 以下のようなご質問があれば、お問い合わせください。

- ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。)

損失が生じるリスクの内容	運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 為替相場の変動による影響を受けます。		
(ご参考) 過去1年間の収益率	—	※ 本書作成日現在、該当するファンドデータがない場合は、表示していません。	
(ご参考) 過去5年間の収益率	平均値		—
	最低値		—
	最高値	—	

※ 損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、「運用実績」に記載しています。

POINT!

リスクについて考える場合、上記の「損失が生じるリスクの内容」だけではなく、以下のリスクの数値も意識するとより理解しやすくなります。リスクの値が大きいほど値動きが大きく、リスクが高いことを意味します。投資信託のリスクとリターンの程度を考え、お客さまの目的に合った投資信託を選ぶことが大切です。

年率リスク・リターン表 (過去1年、3年、5年)

	過去1年	過去3年	過去5年
年率リターン	—	—	—
年率リスク	—	—	—

※ 2024年4月30日に設定のため、表示していません。

※ 年率リスクとは、月次リターンの標準偏差を年率換算したものであり、平均的なリターンからどの程度かい離するか、値動きの振れ幅の度合いを示しています。

POINT!

一般的に、長期保有は短期保有に比べて1年あたりの収益の振れ幅が平準化し、安定的なものになります。

保有期間別のパフォーマンス

2024年4月30日に設定のため、表示していません。

? 以下のようなご質問があれば、お問い合わせください。

- ④ 上記の「損失が生じるリスクの内容」について、私が理解できるように説明して欲しい。
- ⑤ 年率リスク・リターン表の見方について説明して欲しい。
- ⑥ 保有期間別のパフォーマンスについて説明して欲しい。
- ⑦ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明して欲しい。

3 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します。)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	購入時手数料は、購入金額に応じて、以下の手数料率(税込)を購入価額に乗じて得た額になります。 1億円未満: 3.30% 1億円以上3億円未満: 1.65% 3億円以上: 0.55%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬=運用期間中の基準価額×信託報酬率。 実質的な信託報酬率は年1.738%(税込)。また、その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※ 上記以外に生じる費用を含めて詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

? 以下のようなご質問があれば、お問い合わせください。

- ⑧ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明して欲しい。
- ⑨ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明して欲しい。
- ⑩ 上記費用について、何の対価が説明して欲しい。

4 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります。)

- この商品の償還日は2045年5月10日です。ただし、償還延長や繰上償還の場合があります。
- この商品に換金時手数料は生じませんが、換金した際に発生する有価証券売買コスト等、残存受益者への影響を低減する目的で信託財産留保額(0.3%)を換金時にご負担いただきます。
- 市場の閉鎖、海外の取引所・銀行の休業日の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

? 以下のようなご質問があれば、お問い合わせください。

- ⑪ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明して欲しい。

5 みずほ証券の利益とお客さまの利益が反する可能性

- みずほ証券がお客さまにこの商品を販売した場合、みずほ証券は、投資信託から組成会社(委託会社)を通して信託報酬の一部(年率0.715%(税込))をいただきます。これは、商品購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンド管理等の対価です。
- みずほ証券および組成会社(委託会社)であるアセットマネジメントOne株式会社は、みずほフィナンシャルグループに属しています。その他ファンド関係者との提携関係は巻末をご覧ください。
- みずほ証券の営業員に対する業績評価上、この投資信託の販売が他の投資信託の販売より高く評価されることはありません。

※ 利益相反の管理とその取組方針については、みずほ証券ウェブサイトの「利益相反管理方針の概要」をご覧ください。

<https://www.mizuho-sc.com/souhan.html>



? 以下のようなご質問があれば、お問い合わせください。

- ⑫ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社や利益を優先した商品を私にすすめていないか。私の利益よりあなたの会社や利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策を取っているのか。

6 租税の概要 (NISA (成長投資枠・つみたて投資枠)、iDeCoの対象か否かもご確認ください。)

●この商品は、NISA (成長投資枠) の対象商品です。

●以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および 地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して、20.315%
換金 (解約) 時 および償還時	所得税および 地方税	譲渡所得として課税 換金 (解約) 時および償還時の差益 (譲渡益) に対して、20.315%

※ NISAの非課税条件を充足した場合は非課税となります。

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7 その他参考情報 (ご契約にあたっては、みずほ証券ウェブサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください。)

組成会社 (委託会社) が作成した「目論見書」

<https://www.mizuho-sc.com/product/toushin/index.html#new>

※ URL等は、この商品のページへのリンクです。ページ内の「目論見書」の文字をクリックすることで、目論見書PDFファイルをご確認いただくことができます。



金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、書面でお渡しします。

情報提供：株式会社N T Tデータ・イービック

本資料に含まれる基準価額や収益率等の情報は、株式会社N T Tデータ・イービックから取得した情報です。

また、本資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

この商品が投資するマザーファンドの運用にあたっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドに運用指図に関する権限の一部を委託します (※)。株式会社みずほフィナンシャルグループは、スイスLombard Odier (ロンバー・オディエ) グループの日本現地法人であるロンバー・オディエ信託株式会社との間で、日本におけるプライベートバンキング業務の拡大および超富裕層のお客さまに対するサービスの向上を目的とした業務提携契約を2023年に締結しています。

(※) ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント (ヨーロッパ) リミテッドは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部を、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント (スイス) エス・イーおよびロンバー・オディエ・アセット・マネジメント (USA) コーポに再委託します。